

(開催プログラム)

第27回根釧農試酪農フォーラム

輸入飼料の高価格安定による経営状態の悪化や、先行きが見えないTPP交渉、国内外の牛乳不足、さらには慢性的な労働力不足等、酪農の情勢は厳しさを増しています。

これらの情勢に対応するためには、飼料自給率の向上による経営体力の向上が必要といわれています。そこで、十勝地域や国外（欧州）における取り組みや情報から、根釧酪農にとってのヒントを得るために、下記のテーマで今年の酪農フォーラムを企画しました。

十勝地域の飼料生産改善において一線で活躍している方、欧州と北海道を往来して、欧州における飼料生産の状況を紹介して頂ける方に、話題提供していただくとともに、ご来場の皆様を交えて意見交換を行う予定です。

多数の参加をお待ちしております。

テーマ：北欧および十勝における飼料生産の情報

日時：平成26年11月19日（水） 13:00～15:20

場所：根釧農業試験場 講堂（中標津町旭ヶ丘7番地（0153-72-2004））

主催：（地独）北海道立総合研究機構 根釧農業試験場

	プログラム	
1. 開会		13:00
2. 開会挨拶		13:00～13:05
	道総研農業研究本部 根釧農業試験場 場長 草刈直仁	
3. 話題提供		
1) 『自給飼料増産を目指した飼料アップと働き運動の取り組み』		13:05～13:55
	十勝農業協同組合連合会 古川 研治 氏	
	休憩（5分）	
2) 『北欧における飼料生産』		14:00～14:50
	ホクレン農業協同組合連合会 岩淵 慶 氏	
	休憩（5分）	
4 総合討論		14:55～15:20
5. 閉会		

